

また木質バイオマス原料を燃料に加工する事業化を出発年とする」と述べていますが、私は「木」というものは多くの機能を果たしながら50年も60年もかかり使用できるようなったものであり、すぐに燃やしてCO₂に戻すのではなく、製品として価値の高い順に可能な限り長く繰り返し利用し、最終的に燃やしてエネルギーとして利用するといった多段階的な活用を進めるべきでないか、そのことを出発点とすべきと考えますが、村長の考えをお聞きます。

中村村長 薪ストーブの補助制度は住民の意向を聞いて、薪の需要拡大のためのアンケート調査を行い考えたいと思います。薪には林地残材や製材の端材を活用していきたいと考えています。

を伺います。

中村村長 山菜工場には原木ナメコ生産のための材料を提供していますし、地域企業振興条例を活用して欲しいと考えています。

3 キャンプ場

問 利用者が1320人とありますが、利用料の総額は。

中村村長 キャンプ場の利用料は6月8日から10月22日までで総額74万6600円です。

4 上下水道

問 道道道占冠PA（パーキングエリア）の水供給に向けた調査とありますが、その状況と調査目的は。

中村村長 医師対策については、辞める場合は、年度の6月頃意思表示して欲しいとお願ひしています。

中村村長 占冠PAの水の件は地下水量の減少を給水車による搬送で対応していましたが、ネクスコが配管工事をするための調査です。

5 児童福祉

問 学童保育センターを作る考えはありますか。

中村村長 学童センターは単独ではできないが、既存施設の活用でできないか検討します。

6 保健・医療

問 診療所の医師が継続的に不在とならぬような対策が練られるべきと思いますが。

中村村長 医師対策については、辞める場合は、年度の6月頃意思表示して欲しいとお願ひしています。

7 財政推計

問 村民税で財政推計とH26年度予算に多額な乖離がありますか。

田中総務課長 村民税のH26年度予算と財政推計との約600万円の乖離は所得割の課税標準額が下がっていることによる

ものです。

問 乖離があつた昨年11月に作成された財政推計の訂正はありますか。

田中総務課長 大きな事業の変更がない限り見直す考えはありません。

8 臨時財政対策債

問 赤字地方債の臨時債を発行することは財源不足があるということですか。それとも経常収支比率が悪化する現象を回避するためですか。

田中総務課長 本来交付税としてもらえる額において国が財源措置できない部分を、地方が起債を起しなさいと国が示してくる数字です。臨時債につきましては、国が100%補填しますので、元金・利息・年賦払いになりますけれども、これは100%交付税に算入されます。

9 地方交付税

問 以前発行した臨時債の償還に充てるべき額はどれほどですか。減債基金を更に積み増す対応がなされるべきと思いますが。

田中総務課長 臨時債についてはH25年の交付税算入額で1億1350万4千円が算入されています。

10 ふるさと納税

問 人口が少ないこの村で税金を増やす有効な制度としたいと思いますか。

中村村長 ふるさと納税は村のPRを含め重要と考えます。

11 防災計画

問 占冠村地域防災計画に外部電源供給装置について述べられていますか。

中村村長 外部電源供給装置の件は自家発電として、占冠中学校・消防占冠支署・トナム支所に配備しています。

小峰義雄議員

1 住民参加の村づくり

問 『村民の皆様は占冠村に住んで良かった、いつまでも住んでいたいと思っていたらどう一人ひとり村づくりに参加、画面していくことにあります。』

2 山菜工場支援

問 助成期間終了後の支援内容

中村村長 国、県、市、町の購入を含め考えていきます。

問 薪関係で2千ヘクタールある村有林の活用を燃やすだけでなく、きちつとした利用をする体制作りをして欲しいと思うが。



占冠パーキングエリア

と表明されています。大変大切に重要と思えますが具体的にどのように進めますか。

中村村長 すでに取り組んでいる町村が道内では二セコ町が代表的な自治体です。イメージとしては住民自治基本条例とか、まちづくり基本条例が他の町村であります。

どのようなものを作っていくかは今後の検討ですが、これを作っていくのに職員の方々に先進地の事例調査や派遣もしたいと考えています。



集落対策会議の様子 (占冠地区)

2 集落対策の取り組み

問 昨年から双珠別、中央、占冠で進められ今年にはトマム地区で取り組まれるとのことですが、今まで多くの人が色々な意見を出されています。どのように評価していますか。

中村村長 わたしの位置付けの中で住民参加、参画の第一歩が集落対策であるとの認識で進めています。議論されている内容は熟議という形で進められており、本当に住民の意見、声が届いていると評価しています。

3 道の駅の駐車場の排雪

問 道の駅は村の重要な観光の拠点であり引き続き民間による新しい発想や積極的な取り組みを支援したいと述べていますが、道の駅の除雪の雪が大変高く積み上げられています。それでは観光の拠点としてはふさわしくないと思います。

道の駅の指定管理料に排雪は入っていないようですから、冬期間2〜3回排雪することが観光振興につながるのではないかと思います。

中村村長 現在観光協会に委託して道の駅の管理をしています。観光協会も冬期間あの雪を使つてイベントもやっていることもあり観光協会と連携を取りながら進めていきたいと考えています。

4 湯の沢温泉の薪ボイラー

問 昨年12月から稼働して約3カ月ですが、状況をどのように把握されているのか伺います。

中村村長 現在薪の投入方法、入れる薪の量、時間間隔、そういうデータを集めています。データ把握した後、効率的なボイラーの使い方に努めていきたいと思っています。

5 山菜工場の経営と雇用状況

問 現状の経営と雇用状況についてどのようになっているのか伺います。

中村村長 今年度は企業誘致の期間であり四半期ごと業績の報告が来ています。若干赤字ですがそれは村の補助金が入つての数字であり、それがなければ厳しいのかなという状況です。販売拡大はきのこ総研で営業活動をやっており、そちらの伸びが期待できると伺っています。

移譲したときの従業員は確保されており合計で32人です。うちパートが13人、中国人の実習生が9人で雇用全体は増えている状況です。

山本敬介議員

1 トマムの集落対策は

問 今年からトマムでも集落対策を行うということですが、ガソリンスタンドや商店の問題もあり、住民の皆さんは不安を抱えています。集落対策の議論は、できるだけ早く始めるべきと思いますが、伺います。

中村村長 体制がとれ次第、なるべく早くトマム地区の人と本間に膝を交えて話し合いをしたいと考えています。

2 農産物の6次化

問 今年度農産物の6次化を目指して、双民館にチーズの熟成庫などを整備するということが道具だけではなく、体制を作るべきと思いますが伺います。

中村村長 村はどういう形で6次化を支援をすればいいのか、希望者が出てくれば積極的に支援していきたいと考えています。

3 木質バイオマス

問 木質バイオマスは、地域全体の環境対策として、大きな視点で循環型社会を目指していくべきと思います。昨年の執行方針では横断的なプロジェクトチームを作つて取り組んでいくということでしたが、今後の進め方について伺います。

中村村長 循環型社会を作っていくためには、必要に応じて横断的な組織も必要と考えています。

4 トマムリゾート

問 トマムリゾートは村が長い歳月をかけて作った一大産業です。そこにある経済をどうやって村の農業、商工業、林産物も含む林業などに安定して落とすしていくか、考えを伺います。

中村村長 リゾート抜きには、村の産業、観光は考えられませんが、集落対策の中でも出てくるでしょうが、村、地域、リゾートが一体となつて一つ一つ解決していくことが大切だと思います。